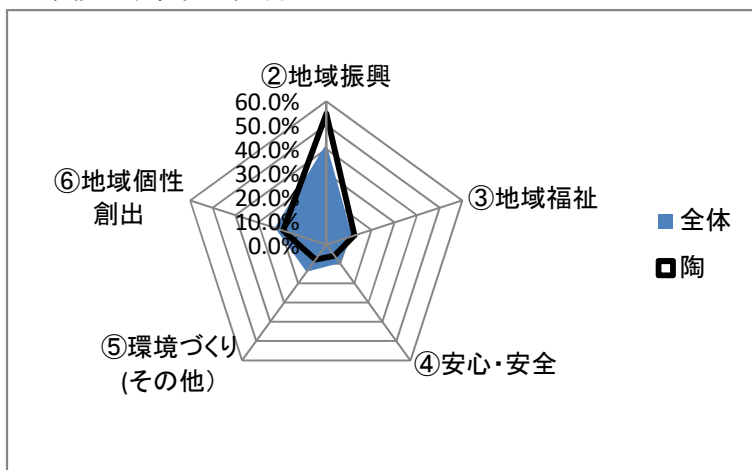


陶連合自治会 地域づくり交付金事業概要(令和5年度)

■地域の情報

地域人口	2,151人	自治会数	16
世帯数	915世帯	自治会加入率	73.6%

※数値は、令和6年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	10,188,000 円
交付金決算額	10,188,000 円
その他収入	57,546 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	4,031,298 円
②地域振興	1,476,800 円
③地域福祉	335,813 円
④安心・安全	155,811 円
⑤環境づくり(土木工事)	3,525,000 円
⑤環境づくり(その他)	209,157 円
⑥地域個性創出	511,667 円
決算総額	10,245,546 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

第4次陶地区地域づくり計画の初年度となる今年は、様々な年齢層がともに手を携え「みんなでつくろう笑顔でつながるふるさと陶」のキャッチフレーズのもと、3年間のコロナ禍の経験を活かしながら様々な地域課題を考慮し「オール陶」の体制で積極的に取組を進めていく。

■総括

4年ぶりに「陶地区民運動会」「陶夏フェス」を実施し、今まで高齢者を中心としたイベントから若者を中心としたイベントに変革したことで成果を上げることができた。特に「陶ふれあいまつり」は、第50回の記念回であり若者を中心に何度も企画会議を重ね、陶地区民に楽しんでもいただける祭にすることができた。また、陶中央部を清掃する「陶クリーン作戦」は豪雨により中止としたが、事前の予報をもとに早めに中止決定を行い、予備日を事前に知らせ作業内容を早めに変更することでスムーズに清掃活動ができた。柔軟な発想や行動で今年度の行事を実施することができたが、今後も若者の意見をどんどん取り入れ固定概念を払拭し、新たな取組にチャレンジする。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局の運営体制
② 地域振興	人材発掘・育成、広報活動の推進、ふれあい行事の見直し、活動グループの育成
③ 地域福祉	子育て支援の推進、小規模福祉の輪づくり、三世代交流の推進、地域福祉講座の開催、高齢者のサポート、交通弱者支援事業、健康管理活動・保健講座
④ 安心・安全	反射鏡設置・修復、空き家・空地の利活用、自主防災活動の推進、要支援者の支援、陶マナーアップinSUE
⑤ 環境づくり	土木工事：法定外公共物等整備事業、陶クリーン作戦(道路環境美化)
⑥ 地域個性創出	再発見「すばらしい陶」、陶ふるさと大学、文化財保護活動、陶ブランドの立ち上げ、地元文化育成、コミュニティー・スクール支援

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	運動会・ふれあいまつり	決算額	600,188円
	目的	昨年のふれあいまつりの経験を踏まえ、各行事の見直しを検討する。		
	実施内容	①陶地区民運動会 ・4年ぶりの開催、競技を午前中に縮小して実施した。 ②陶ふれあいまつり ・スタッフの意識統一や地域住民との一体感が醸成する取組として法被を作製した。 ・記念大会として県出身のアニソン歌手(きただにひろし)のライブを実施した。 ③陶オリンピック ・次年度以降に若者の「陶のこれから部会」と「総務部会」が検討する。		
	実施時期	①4月 ②11月 ③未実施		
	参加人数	①400人 ②1500人		
	成果	4年ぶりという事で手探りのところもあったが、若者の発想で参加者も増え、イベントが盛り上がり非常に成果があった。		
	評価	「陶地区民運動会」は、時間短縮が高評価であった。「陶ふれあいまつり」は、若者を中心とした「陶のこれから部会」が各種イベントを企画し、アニソン歌手の招待や福引大会、餅まき等により盛大に実施できた。		
	今後に向けて	今回のイベントの反省会を設け、今後より良い行事になるよう努める。		
②	事業名	ふれあいウォーキング	決算額	2,980円
	目的	地区民の体力維持・向上		
	実施内容	地域内に約5kmの史跡巡りで体力の向上を図った。		
	実施時期	11月		
	参加人数	33人		
	成果	史跡巡りは、4年ぶりに実施したが例年に比べ参加者が半数に留まった。		
	評価	史跡巡りは、距離的に丁度よく体力向上に繋がった。		
	今後に向けて	今後も参加しやすい様に工夫し継続していく。		
③	事業名	陶クリーン作戦(道路環境美化)	決算額	209,157円
	目的	陶中央部の国道、県道、市道周辺や通学路の道路環境美化		
	実施内容	地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化、中央公園の清掃を実施した。		
	実施時期	7月、11月、2月		
	参加人数	320人		
	成果	年々高齢化が進むが法面の草刈り及びプロアーによる清掃を簡素化し実施した。		
	評価	豪雨で中止もあったが多くの参加者により環境美化に努めることができた。		
	今後に向けて	高齢化が進むため、実施時期、作業方法を見直し、効率よい環境美化に努める。		

④	事業名	文化財保護活動	決算額	16,626円
	目的	文化財の保護活動を実施し、多くの方に陶の見聞を広めてもらう。		
	実施内容	①陶陶窯跡周辺の清掃を地区の子供たちと文教部会で実施した。 ②史跡説明板に補助情報用QRコードの付加した。		
	実施時期	①1月 ②中止		
	参加人数	29名(子供11名、大人18名)		
	成果	①国指定の陶陶窯跡を地区の子供たちと一緒に清掃活動することにより陶陶窯跡の歴史について大人と子供で共有できた。 ②QRコードは検討のみとした。		
	評価	①陶陶窯跡が須恵器の生産に欠かせなかった事が清掃を通じて年々子供たちに認知されてきた。 ②QRコードは、説明板の補修も含め再検討する。		
	今後に向けて	陶陶窯跡は劣化が進んでいるため、崩れないよう清掃を通じて維持管理に努める。		
⑤	事業名	夏フェス・夏まつり	決算額	100,000円
	目的	昨年のふれあいまつりの経験を踏まえ、各行事の見直しを検討する。		
	実施内容	若者が中心となり企画・運営を行い多くの来場者がイベントを実施した。		
	実施時期	8月		
	参加人数	400人		
	成果	4年ぶりという事で手探りのところもあったが、若者の発想で参加者も増え、イベントが盛り上がり非常に成果があった。		
	評価	地区内外からの多くの来場者で賑わった。		
	今後に向けて	今回のイベントの反省会を設け、今後より良い行事になるよう努める。		